

数多くの仮想アース装置を聴いてきたが、効果の大きさは大型機に引けを取らない

● RCA仕様をプレーヤーで試す  
**音場の見晴らしが向上 生々しさが大いに高まる**  
 試聴は自宅リスニングルームで行った。最初にRCAタイプをデイスクリューのデジタルアウットに装着して音の違いを聴く。クラシックは一気に音場の見晴らしが向上し、音像へ僅かにこびりついていた煤のようなものが払われ、生きいき洗滌と音楽を奏でるさまが心地良い。弦楽器は胴の鳴りが豊かに深みを増し、メタルパーカッションは目覚ましく弾け飛ぶ。これまで数多くの仮想アース装置

を聴いてきたが、効果の大きさは大型機に引けを取らない。  
 ジャズはドラムが軽やかに躍動し、これは即ち生々しさが大いに高まったということだ。ウッドベイスもドラムと丁々発止のやりに合いを聴かせ、とにかく身のこなしが俊敏なことに感動してしまふ。本家のジャズってこんな音楽だよな、という印象が聴けば聴くほど深くなる。これはいい。  
 ポップスはやはり冒頭の伴奏楽器から音の出方に逡巡がなくなり、歌姫の歌唱もはつきりと活発と色気を増す。小さな仮想アース装置一本でこれだけ音が易々と出てくるようになるということは、それだけアースの乱れが音楽を邪魔していたということに他ならない。続いてプリアンプへと差し替えてみる。こちらはオプティオン・ボートのデジタル入力端子を利用した。今回は一本での取材なので、できるだけ両chへ均等に効果が行き渡るよう配慮してのことだ。ク



筆者が自宅のシステムで試した3種類。RCA仕様はデジタルプレーヤーで特に効果を発揮。SP仕様はスピーカーのマイナ端子に左右に設置した際が最も効果を発揮した

ラシックはデイスクリューへ挿した時よりもいくらか質感が柔らかなになり、弦楽器の胴鳴りはより豊かに甘く響く。ジャズは少し音が太くなって好ましいが、スピード感を重視したいならばデイスクリューで使った方がより効果があるかなと思う。ポップスもやはり音の太さや安定感が勝る。

● スピーカーで試す  
**マイナ端子が効く 艶と音像が躍動する**  
 お次はスピーカーに「クリスタルEp」を接続してみよう。Yラグとバナナプラグが装着されたものが一本ずつ届いたので、左右のマイナ端子にそれぞれ接続してみた。クラシックは明らかに音のバリが取れ、しっとりとした音場に音像が躍動する。弦楽器は弓に擦られた弦が胴を鳴らしている

■「クリスタルEpシリーズ」のラインナップ  
 いうことが明らかに伝わる。メタルパーカッションは艶やかさを増し、音場いっばいに飛び散っていった。ジャズはドラムのパワーが増し、しかし勢いが衰えないのが良い。ウッドベースはより豊かな鳴りになった。



「Crystal EpR」(RCAプラグ) ¥26,400(1個・税込)



「Crystal EpT3φ」(3.5 スtereoミニプラグ) ¥26,400(1個・税込)



「Crystal EpB」(バナナプラグ) ¥26,400(1個・税込)



「Crystal EpY」(Yラグ) ¥26,400(1個・税込)

ポップスは音像の実体感が増し、どっしりと安定した演奏が素晴らしい。この効果はどこかで聴いたことがあると思ったら、スピーカートワイターを追加した時の音に匹敵する。全然違う作用の製品なのに、面白いものである。

KOJO TECHNOLOGYの大ヒットシリーズの第2幕

# “連結”で楽しみが無限大 超コンパクト仮想アースが誕生

独自の仮想アース「クリスタルE」が空前のヒットを続ける光城精工(KOJO TECHNOLOGY)。そんな大ヒットシリーズの第2幕が開けようとしている。その名は「クリスタルEp」。プラグ型仮想アースとして、8月に開催される香港オーディオショウを皮切りに発売を開始することとなったシリーズである。ご覧の通り、超コンパクトでありながらも、導体表面積を増大することに成功したというもので、端子形状の異なる4種類がラインアップされる。さらに同モデルが“クリスタル・シリーズ”であることを忘れてはいけない。得意の“連結”は健在。「Ep」同士はもちろんのこと、「クリスタルE」や他社の仮想アースとも結合することができるなど、その楽しみ方は無限大。さっそくその効果を炭山アキラ氏が体験する。

Text by  
**炭山アキラ**  
 Akira Sumiyama



## KOJO TECHNOLOGY Crystal Epシリーズ



仮想アース(グランドターミナル) ¥26,400(1個・税込)

- ラインナップ：①「Crystal EpR」(RCAプラグ)、②「Crystal EpT3」(3.5 スtereoミニプラグ)、③「Crystal EpB」(バナナプラグ)、④「Crystal EpY」(Yラグ)
- 取り扱い：(株)光城精工

小さな筐体でありながら大きなアース効果を実現  
 「遠くのアースより近くのアース」というコンセプトで開発された「クリスタルEp」は、ただプラグを直付けするために小型化しただけではない。同社の仮想アース

機器に直接接続する 世界初の仮想アース  
 光城精工の仮想アース装置「クリスタルE」は、国内外で大きな評判を呼びセールスも好調と聞く。自宅リスニングルームでも何度か実験したが、あの製品は音質傾向がニュートラルでS/N向上の度合いが大きく、さらに2個連結することで2倍以上の効果を得られるという、実際に体験してみなければちよつと信じられないような奥深さを持つだけに、エンドユーザーから高い信頼を勝ち得てもそれは当然というものであろう。  
 そんな同社がさらに突っ込んだモノ作りをしてきた。新作の「クリスタルEp」は、ちよつと凝ったRCAプラグくらいの大ささしかなく、先端にRCAとステレオミニプラグに加え、何とバナナやYラグが装着された製品まで登場してきた。「スピーカーに直接接続する仮想アース装置」というのは世界でも初めてなのではないか。

